

各種目1位(敬称略)▼1年女子60m 鈴木柚乃(角館陸上スポ少)▼1年男子60m 浅利泉吹(松木内ランナーズ)▼2年女子80m 田口愛唯(生保内ジュニアRC)▼2年男子80m 藤原拓馬(生保内ジュニアRC)▼3年女子80m 高橋凜(西明寺小)▼3年男子80m 能美棟真(角館陸上スポ少)▼4年女子100m 石郷岡怜(西明寺小)▼4年男子100m 柴田優星(田沢湖イーグルス)▼5年女子100m 武藤桜南(松木内ランナーズ)▼5年男子100m 佐藤奏汰(角館陸上スポ少)▼6年女子100m 島山紗依(西明寺小)▼6年男子100m 戸澤清志郎(角館陸上スポ少)▼女子200m 浅利麻帆(松木内ランナーズ)▼男子200m 酒出梓正(生保内ジュニアRC)▼女子800m 吉田莉奈(西明寺小)▼男子1000m 藤原北斗(角館陸上スポ少)▼女子400m 佐藤吉田・木村・石郷岡(角館陸上スポ少A)▼男子400m 佐藤・伊藤・江橋・戸澤(角館陸上スポ少A)▼男子走高跳 小山田輝(西明寺小)▼女子走高跳 佐藤清南(角館陸上スポ少)▼男子走幅跳 佐藤立樹(生保内ジュニアRC)▼女子走幅跳 佐藤伊藤(伊藤媛音(西明寺小)▼男子ジャバリックボール投げ 伊藤媛音(西明寺小)▼男子ジャバリックボール投げ 新記録 佐藤奏汰(角館陸上スポ少)

仙北市小学生陸上競技大会 走・跳・投で競い合う

10月14日、生保内中学校陸上競技場で仙北市小学生陸上競技大会が開催されました。大会結果は左記のとおりです。



10月25日、国土交通省角館国道維持出張所で国道46号の除雪安全祈願祭と除雪機輸出動式が行われ、関係者約60人が出席、作業中の無事故と冬期間の道路交通の確保を誓いました。

安全祈願祭に続き行われた出動式では、応援に駆けつけた角館こども園の園児たちが安全運転の願いを込めてオペレーターに「気をつけて頑張ってください」などと激励しながら大きな力を渡しました。

また、園児たちは除雪機体験乗車や雪をよける「スノープラウ」にお絵かきするなど、冬期間の道路を守る強い味方になりました。



安全運転をお願いします！

国道46号 除雪安全祈願祭 除雪機輸出動式

このたび、「令和元年秋田県文化功労者表彰式」が秋田県庁正庁で行われ、有限会社鶴の湯温泉の代表取締役会長で、一般社団法人田沢湖・角館観光協会会長の佐藤和志さんが、秋田県の観光振興に貢献されたとして、文化功労章を受章しました。

文化功労章は、文芸、技芸、美術や教育、社会福祉、農林業、産業など各分野において、秋田県の文化の向上発展に卓越した功績のある個人または団体の業績を称えるもので、佐藤さんは、鶴の湯温泉の再生を通して魅力ある温泉宿の実現と乳頭温泉郷をはじめとした同地域の観光資源の知名度向上に取り組み、秋田県の観光振興に尽力されたとして今回の受章となりました。

観光振興に尽力 佐藤和志さんが 文化功労章を受章



文化功労章を受章した佐藤和志さん(左)と奥様のとし子さん(右)。

タイ・車いすバスケットボールチーム強化合宿 生保内中学校生徒が車いすバスケットボールを体験



10月18日、2020年東京パラリンピック出場に向けて秋田県立田沢湖スポーツセンターで合宿中のタイの車いすバスケットボールチームを生保内中学校の生徒が訪問、車いすに乗り、バスケットボールを体験するなど、選手と交流を深めました。

今年6月に仙北市、秋田県、タイ王国パラリンピック委員会、同国車いすバスケットボール協会が、車いすバスケットボールを中心としたスポーツ交流に関する基本合意書を取り交わしたことから行われることになった強化合宿には、監督、コーチ、選手ら14人が参加。10月16日から23日までの8日間滞在し、同センターで基礎練習のほか、試合形式による実践的な練習などを行いました。



車いすに乗ってシュートを体験。



車いすを自由自在に操作しプレーする選手たち。

車いすに初めて乗ったという加藤桃明さんは「車いすは軽い力で操作できたけど、力加減が難しかった」と同じく鈴木煌野さんは「車いすに乗ってのシュートは腕の力が必要で難しかった」と話しました。女子バスケットボール部に所属しているという2人は「楽しかったのでまた機会があればやってみたい」と話しました。

台風19号被災地の支援に 市職員が宮城県角田市へ



被災家屋の調査の様子(10月29日撮影)。

10月28日から11月2日まで、令和元年台風19号の被害を受けた宮城県角田市へ仙北市から応援職員2人を派遣しました。角田市は10月31日現在、死者1人、床上浸水736世帯、床下浸水806世帯の被害となっています。

現地での業務を終えた税務課の原勉参事は「初めての災害派遣だったが、仙北市も災害派遣の経験をもっと積み、被災地への積極的な支援を目指す必要性を感じた」とともに、仙北市で災害が発生した場合の迅速な対応に活かすことができると感じた。今回、参加した私たち2人が、この経験を他の職員や市民の方々に発信することが大切だと感じている」と話しました。また、同じく業務にあたった田沢湖地域センターの佐々木駿輔主任は「仙北市で災害が発生した場合に活用できるように、今回の経験を仙北市の経験として共有していかなければならないと感じている」と話しました。

◆草薨晃さん
複合品目として、ねぎ1ヘクタールを経営の中心としており、仙北

◆真崎勇さん
リンドウを始め、アスターなどの様々な花き栽培に取り組んでおり、高い栽培技術と優れた経営感覚で安定した経営を実践している。特にリンドウ栽培は県内でも導

地区のねぎ生産の本格的な導入に長年尽力してきた。JA秋田おほこ管内では順調に生産が拡大され平成29年には22ヘクタール、販売額8900万円となり、同年7月にJA秋田おほこねぎ部会が発足し、初代ねぎ部会長に就任している。翌年の平成30年に販売額1億円を突破した。夏どりから秋どりまで効率よく収穫できるように適正に作型を配分し、高い技術力で収益を確保するとともに、近年増えてきている新規の栽培者に対しても熱心に指導している。

今年度からJA秋田おほこねぎの産地拡大に寄与している。

令和元年度仙北市農業賞の表彰式が10月26日に産業祭の褒賞授与式に先立ち行われました。仙北市農業賞は、農業に従事し、農業の振興に貢献している方を表彰することにより、受賞者の社会的地位の向上と農業の発展に資することを目的として、平成28年度から設けられました。受賞者の選考は、農業関係団体が個人や団体を推薦し、市や県、JAなどで構成する選考委員会にて審査を行い決定しました。



農業賞を受賞した真崎勇さん(右)と草薨晃さん(左)。中央は門脇市長。

令和元年度 仙北市農業賞表彰式



第15回 仙北市産業祭
農・商・工が手をつないで



農林産物等品評会特別賞受賞者 ※敬称略()内は地区

- 仙北市長賞**
大根/青柳聡子(角館町)
白菜「秋の祭典」/新山良和(田沢湖)
籐細工籠「乱れ編み」/冨木真喜子(西木町)
- 秋田県農業協同組合中央会長賞**
キャベツ/高橋博子(田沢湖)
にんにく/田本熊夫(西木町)
ミニトマト「アンジェレ」/万六ファーム(田沢湖)
- 仙北市議会議長賞**
山の芋/藤川智裕(田沢湖)
- 秋田おほこ農業協同組合代表理事組合長賞**
ほうれん草/新山悦男(西木町)
キャベツ/田口せい子(西木町)
ねぎ/草薨晃(角館町)
- 仙北市商工会長賞**
ビツ栗ようかん/佐藤イヨ(西木町)
- 秋田県農業共済組合組合長理事賞**
金時豆/桜田礼子(西木町)
- 仙北東森林組合代表理事組合長賞**
西明寺栗 3L/八柳茂(西木町)
- 仙北市農業委員長賞**
長芋/千田京子(田沢湖)
- 秋田県たばこ耕作組合長賞**
葉たばこ/木村明夫(角館町)

10月26日・27日の2日間に行われ、神代市民体育館を主会場に「第15回仙北市産業祭」が開催されました。今年度の農産物等品評会では271点の出品がありました。夏場の高温や干ばつが続くなど、農産物には厳しい環境でしたが、どの部門でも天候や災害に対応した努力に高い評価を受けました。

開会式で門脇市長は「1年間の営みの集大成を産業祭で見てください。来年にむけた様々な活動の情熱をさらに確認したい」、仙北市商工会の堺研太郎会長は「仙北市には魅力的な

農産物が地元の方の技術によって作られていることを知ってもらうとともに、若い方が農業の仕事をしたいと思うきっかけにしたい」と話しました。神代市民体育館では農産物などの展示のほか、西木町くりっこ太鼓の演奏や、神代小学校器楽部による演奏、神代こども園の園児たちによる発表で盛り上がりしました。また、梅若会による民謡ショーでは迫力あるプロの歌声で多くの観客を魅了しました。駐車場では、藤波舞踊団による演芸会が行われ、来場者と共演する場面もあり会場は大いに盛り上がりました。そのほかに

も地元の方による出店や交通安全体験、武道館では木工・クラフト体験やハロウィーン仕様のお昼寝アートなども行われ、来場者が楽しめる催しとなりました。

菊花の部入賞者(敬称略)
【天菊(厚物・袖物)】
最優秀賞 古郡一美
優秀賞 古郡一美
優良賞 古郡一美
柏谷朝二
武藤長衛
熊谷廣勝
太田弘
加賀谷一男
千葉肇



交通安全意識の高揚を図る

仙北市交通安全市民大会

10月22日、仙北市民会館で交通安全市民大会が行われ、関係団体や市民などおよそ220人が参加しました。長年、交通安全の推進にご尽力いただいた5個人・1団体に交通安全功労者表彰を受賞したほか、ミニコンサートや講演が行われました。

ミニコンサートでは、秋田県警察音楽隊の演奏とカラーガードのパフォーマンスとともにアンコールを含め全10曲が披露され、会場を盛り上げました。

講演では、ヤマト運輸株式会社秋田主管支店より「夜間の交通事故防止」と題して、歩行者の明るい服装や反射材の有効性と、車のロービーム・ハイビームの見え方を紹介。

また、株式会社秋田銀行の講演では「最近の特許詐欺の特徴」と題して、仙北警察署による寸劇で、実際の特許詐欺の手法と被害の防止策を紹介しました。

最後には不幸な事故をなくすための四つの決意を参加者全員で宣言し、大会を締めくくりました。



5個人1団体が表彰されました。



仙北警察署による寸劇の様子。

- 交通安全功労者表彰(敬称略)
- 【個人表彰】
 - 田口武美(仙北地区交通安全協会生保内支部)
 - 小林寛(同中川支部)
 - 阿部高美(同松木内支部)
 - 田中徳夫(元仙北市交通指導隊員)
 - 田村萬里子(同)
 - 【団体表彰】
 - 仙北地区交通安全協会生保内支部婦人部

日本人観光客向けには、江戸時代の武士と農民の料理の食べ比べをするプラン、外国人観光客向けには、和装でウェディングを挙げてもらうプランなど武家屋敷の特徴を生かしたアイデアを発表しました。



左から、山本暢三校長、進藤千寛さん、高根日愛さん、鈴木杏那さん、熊谷教育長。

10月5日、県南の中学生が地元企業や団体などを訪問し、業務内容などを聞いて生徒自身が考えた地域活性化のプランを発表する「第1回秋田活性化中学生選手権県南大会」が、角館中学校が優秀校に選ばれました。

高根日愛さんは「優秀校と発表された時はとてもびっくりした。全県大会ではプレゼン能力を身につけ、レベルアップして臨みたい」と、鈴木杏那さんは「全県大会は自信を持って発表したい」、進藤千寛さんは「伝えることを意識して頑張りたい」とそれぞれ意気込みを語ってくれました。

実戦空手道武心会

佐々木雄さん(角館小4年) 高橋凜さん(西明寺小3年) 全国大会へ

3月3日に八戸市体育館(青森県)で開催された「第13回JKJO全日本空手道選手権大会東北地区選抜大会」に実戦空手道武心会の佐々木雄さんが出場、小学3年男子重量級で見事優勝しました。また、7月21日に山形市総合スポーツセンター(山形県)で「同東北地区最終選抜大会」が開催され、同じく高橋凜さんが出場、小学3年女子で優勝しました。

JKJO全日本大会に昨年に続き出場する佐々木雄さんは「東北大会は納得できる試合ではなかった。全国大会は優勝できるように頑張りたい」と力強く意気込みを語りました。また、全日本大会に初めて出場する高橋凜さんは「試合で勝つととても嬉しい。全国大会でも勝ちたい」と抱負を語りました。指導にあたる湯澤浩一師範は「これまで練習してきたことをベストを尽くして100%出して欲しい」と話しました。



右から佐々木雄さん、高橋凜さん、実戦空手道武心会の湯澤浩一師範。

全国小学生ソフトテニス大会 秋田県予選会

澤山・小室ペア 全国大会へ

10月19日、全国小学生ソフトテニス大会秋田県予選会が大館市高館公園園二スコートで開催され、仙北市ジュニアの澤山・小室(秋田市ジュニア)ペアが第3位に入り、見事全国大会への切符を手に入れました。



全国大会への出場を決めた澤山こころさん(左)・小室柚菜さん(右)と小室柚菜さん(左)・牛島小5年ペア。

第1回秋田活性化中学生選手権県南大会 観光プランで地域を活性化 角館中学校が優秀校に

10月5日、県南の中学生が地元企業や団体などを訪問し、業務内容などを聞いて生徒自身が考えた地域活性化のプランを発表する「第1回秋田活性化中学生選手権県南大会」が、角館中学校が優秀校に選ばれました。

高根日愛さんは「優秀校と発表された時はとてもびっくりした。全県大会ではプレゼン能力を身につけ、レベルアップして臨みたい」と、鈴木杏那さんは「全県大会は自信を持って発表したい」、進藤千寛さんは「伝えることを意識して頑張りたい」とそれぞれ意気込みを語ってくれました。

角館図書館後援会主催 文化講演会

10月26日、角館図書館後援会主催「第59回文化講演会」が角館榎細工伝承館で開催され、市民などおよそ120人が来場しました。



自身の生い立ちなども話した高樹さん。来場者は興味深い内容に聞き入っていました。

講師に芥川賞や文壇文学賞、谷崎潤一郎賞など、数々の文学賞を受賞している作家の高樹のぶ子さんを迎え、「言葉と私」と題して講演が行われました。講演で高樹さんは、現在新聞で連載している平安時代の小説「伊勢物語」の主人公といわれる在原業平の一代記の執筆でのエピソードを交えながら「私は常々言葉なくして感性はない」と話しました。



講演会終了後にはサイン会も行われ、訪れた方々が列を作りました。

響き渡る大迫力の演奏

陸上自衛隊 東北方面音楽隊 コンサート



会場には多彩な演奏が響きわたり、聴衆を魅了しました。

10月20日、仙北市民会館で「陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート」が開催されました。

この日は、クラシック音楽から映画の名曲まで、多彩な楽曲を華やかに、時には力強く演奏し、聴衆を魅了しました。さらにアンコールで、アイノカタチと宝島が演奏され、大きな拍手が送られました。

コンサートの開催にあたり、仙北市自衛隊家族会の皆さんからたくさんのご協力をいただきました。



◆ 戦傷病者相談員 佐藤公平 (敬称略)

住所 田沢湖角館東前郷字七ツ間 (44) 3528

相談内容 戦傷病者の各種年金・給付金などに関する相談、生活上の問題や利用可能な福祉制度などに関する相談



◆ 戦没者遺族相談員 武藤啓司

住所 角館町七日町 (53) 3777

相談内容 戦没者遺族の各種年金・給付金などに関する相談、生活上の問題や利用可能な福祉制度などに関する相談